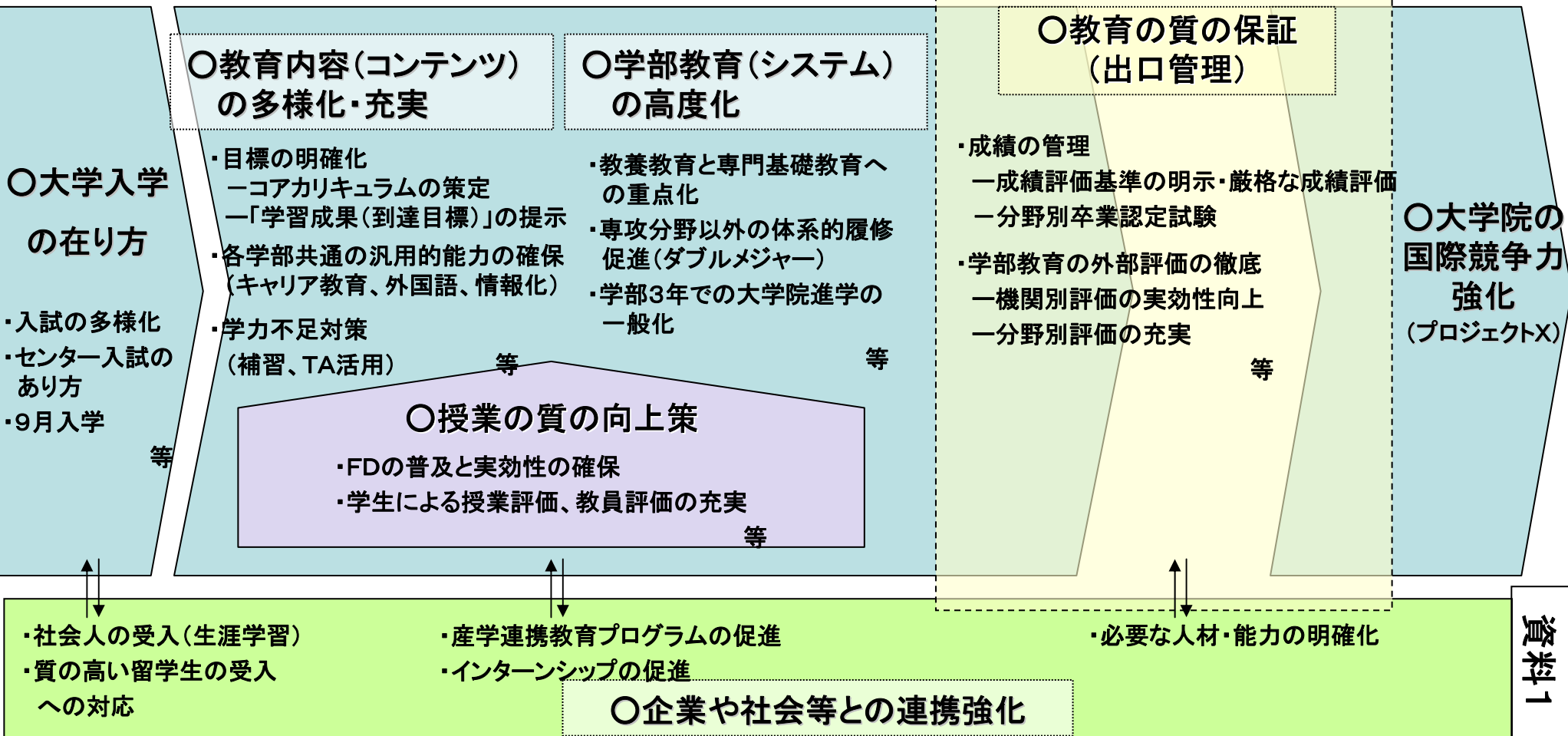


高等教育関連の論点

高等教育を巡る環境変化

- 18歳人口等の減少による大学全入時代の到来
- グローバル化の進展にともなう国際競争の激化

- 多様な学習者の個々の需要に適切に応えた質の高い教育(世界的な研究・教育拠点、高度専門職業人材育成、幅広い職業人養成、総合的な教養教育、特定の専門的分野の教育など)を提供すること
- グローバルな知識基盤社会に対応するため、高度な専門人材や国際的に活躍できるリーダー層の育成を図ること
- 社会人等の再教育に対し、多様な教育機会を提供すること



高等教育（学部教育）関連の論点

0. 大学入試の在り方

1. 学部教育の質を担保する方策

(1) 教育内容と出口管理

①学部教育の質の担保

- ・分野別のコアカリキュラム策定と組織、分野別の評価
- ・学士課程の目指す「学習成果」の提示（到達目標、ベンチマーク）
- ・国際水準の教育内容保証（JABEE）

②成績評価基準の明示と厳格な成績評価

③分野別の学部卒レベル認定試験

④大学等の認証評価制度の活用

(2) 各学部共通の汎用的能力の担保

- ・基礎力（キャリア教育、外国語、情報化、情報収集・活用力、文書作成力）

(3) 学力不足対策

- ・補習授業、TA活用

2. 学部教育（授業）の質の向上策

- ・FD（教員が授業内容・方法の改善し向上させるための組織的な取組み）の実効性の確保
- ・学生による授業評価、教員評価

3. 学部教育の高度化（文理の融合を含む）

- ・教養教育と専門基礎教育への重点化
- ・専攻分野以外の分野の体系的履修の促進（ダブルメジャー）
- ・学部3年での大学院進学の一一般化

4. 企業や社会等との連携強化

(1) 産学連携の教育プログラムの促進

(2) インターンシップなどの促進

(3) 奉仕活動の推進

(4) 企業における必要とする能力の明確化

(5) 社会人の受入れなど生涯学習への対応